



News Release

2024年9月26日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
九州支所

“ずぼら調理”が招く危険 ～トリセツをよく読んで「調理家電の事故」を防ぎましょう～

1. 事故の発生状況

2019年から2023年の5年間にNITEに通知のあった製品事故情報^{*1}のうち、九州・沖縄8県で調理家電による事故は合計35件^{*2}ありました。

(1) 県別および年別事故発生件数（表1）

表1 調理家電の県別および年別事故発生件数（2019～2023年）（単位：件）

事故発生年	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
2019年	1	1	1			1			4
（内数）火災	(1)	(1)	(1)			(0)			(3)
2020年	1		2	1		1	1	1	7
（内数）火災	(1)		(2)	(1)		(0)	(1)	(1)	(6)
2021年	3	1		1		2	1	2	10
（内数）火災	(3)	(1)		(1)		(2)	(1)	(2)	(10)
2022年	1	2		1	1			2	7
（内数）火災	(1)	(0)		(1)	(0)			(1)	(3)
2023年	4	1	1		1				7
（内数）火災	(4)	(1)	(1)		(1)				(7)
合計	10	5	4	3	2	4	2	5	35
（内数）火災	(10)	(3)	(4)	(3)	(1)	(2)	(2)	(4)	(29)

※1:消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含みます。

※2:重複、対象外情報を除いた事故発生件数です。

(2) 県別および被害状況別事故発生件数（表2）

表2 調理家電の県別および被害状況別事故発生件数（2019～2023年）^{*3}（単位：件）

被害状況	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
人的被害	死亡								0
	重傷		2						2
	軽傷		1	1					2
物的被害	拡大被害	6	1	3	2	2		2	18
	製品破損	4			1		2	2	11
被害なし・不明		1						1	2
合計	10	5	4	3	2	4	2	5	35
合計（火災事故）	(10)	(3)	(4)	(3)	(1)	(2)	(2)	(4)	(29)

※3:表2において人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしません。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としています。

2. 事故事例

(1) IHこんろ：2019年6月（長崎県、年齢不明、女性、軽傷）

【事故の内容】

電磁調理器で調理中の天ぷらなべから出火して、レンジフードのフィルターが焦げ、火傷を負った。

【事故の原因】

揚げ物調理中にその場を離れ、更に市販のなべに少量の油を入れて揚げ物調理を行ったため、油が発火したものと推定される。なお、取扱説明書には、「揚げ物調理中はそばを離れない。付属の天ぷら鍋以外は使わない。油は500g（0.56L）未満では調理しない。」旨、記載されている。

(2) IHこんろ：2021年12月（宮崎県、30歳代、男性、拡大被害）

【事故の内容】

電磁調理器で揚げ物を調理後、天ぷらなべから出火し、周辺を焼損した。

【事故の原因】

被害者が揚げ物モードを使用せずに揚げ物調理を行った後、スイッチを切り忘れてその場を離れ、更に鍋底に汚れが付着していたため、温度調節機能が正常に働かず、油が過熱し、発火したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「鍋底やトッププレートに汚れがこびりついたまま使わない。必ず揚げもの温度コントロールを使用する。火災の原因になる。」旨、記載されている。

3. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」＋「NITEのロゴ」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原 2-1-28
独立行政法人製品評価技術基盤機構
九州支所 担当者 清水
電話：092-551-1315 FAX：092-551-1329